



HIKVISION

3K ColorVu バレ ット型およびタレット型カメ ラ

ユーザーマニ
ュアル

ユーザーマニュアル

製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。ご質問やご要望がございましたら、お気軽に販売店までご連絡ください。

このマニュアルは、以下のモデルに適用されます：

モデル
DS-2CE12KF3TP-DLS
DS-2CE72KF3TP-DLS

このマニュアルには、技術的な誤りや印刷ミスが含まれている可能性があります。また、内容は予告なしに変更される場合があります。更新内容は、このマニュアルの新バージョンに追加されます。マニュアルに記載されている製品や手順については、必要に応じて改善または更新いたします。

01000020240731

この文書について

- この文書には、製品の使用および管理に関する説明が含まれています。以下に記載されている写真、図、画像、およびその他の情報は、説明および解説のみを目的としています。
- 本ドキュメントに記載されている情報は、ファームウェアのアップデートなどの理由により、予告なく変更される場合があります。最新バージョンのドキュメントは、Hikvision のウェブサイト (<https://www.hikvision.com>) でご確認ください。別途合意がない限り、杭州 Hikvision デジタルテクノロジー株式会社 Ltd. またはその関連会社（以下「Hikvision」と総称します）は、明示的または黙示的でない保証もいたしません。「Hikvision」といいます）は、明示的または黙示的を問わず、いかなる保証もいたしません。
- 本ドキュメントは、製品をサポートする専門家の指導と支援を受けてご使用ください。

本製品について

この製品は、購入された国または地域でのみアフターサービスサポートを受けることができます。

知的財産権の承認

- Hikvision は、製品に組み込まれた技術に関する著作権および/または特許権を保有しています。本文書に記載されている内容には、第三者から取得したライセンスを含む場合があります。
- 本文書の一部（テキスト、画像、グラフィックなど）は、Hikvision に帰属します。本文書のいかなる部分も、書面による許可なく、その全部または一部を、いかなる手段によっても、抜粋、複製、翻訳、または改変することはできません。
- **HIKVISION** およびその他の Hikvision の商標およびロゴは、各管轄区域において Hikvision の財産です。
- その他の商標およびロゴは、それぞれの所有者の財産です。

法的免責事項

- 適用される法律で許される最大限の範囲において、本文書および記載された製品（ハードウェアを含む）、ソフトウェアおよびファームウェアは、「現状有姿」および「すべての欠陥およびエラーを含む」状態で提供されます。HIKVISION は、明示的または黙示的を問わず、以下を含むがこれに限定されない、いかなる保証も行いません。商品性、満足のいく品質、または特定の目的への適合性。本製品の使用はお客様が製品のご使用は、お客様ご自身の責任において行ってください。いかなる場合においても、HIKVISION は、事業利益の損失、事業の中断、またはデータの損失を含むがこれらに限定されない、特別、結果的、偶発的、または間接的な損害について、お客様に対して一切の責任を負いません。中断、またはデータの損失、システムの破損、または文書の損失を含む損害について、契約違反、不法行為（過失を含む）、製品責任、またはその他の理由に基づくものであっても、製品の使用に関連して生じた場合であっても、HIKVISION は一切の責任を負いません。
- お客様は、インターネットの性質上、セキュリティ上のリスクが内在していることを認識し、HIKVISION は、異常な動作に対する責任を一切負わないことを認めるものとします。異常な動作、プライバシーの漏洩、またはサイバー攻撃、ハッカーの攻撃、ウイルス感染、その他のインターネットセキュリティリスクに起因するその他の損害について一切の責任を負いません。ただし、HIKVISION は、必要に応じてタイムリーな技術サポートを提供します。
- あなたは、この製品を適用されるすべての法律に準拠して使用することに同意し、あなたの使用が

が適用される法律に準拠していることを確認する責任を負います。特に、あなたは、本製品を第三者の権利を侵害しない方法で使用する責任を負います。

これには、パブリシティ権、知的財産権、データ保護およびその他のプライバシー権が含まれますが、これらに限定されません。お客様は、大量破壊兵器の開発または製造、化学兵器または生物兵器の開発または製造、核爆発に関連する活動、または核燃料の安全でない使用に関連する活動を含む、禁止された最終用途のために本製品を使用してはなりません。

化学兵器または生物兵器の開発または製造、核爆発または安全でない核燃料サイクルに関連するいかなる活動、または人権侵害を支援する目的での使用を含みますが、これらに限定されません。

- 本文書と適用法との間に矛盾がある場合は、適用法が優先するものとします。

©杭州海康威視デジタルテクノロジー株式会社。著作権所有。

規制情報

EU準拠声明



この製品および付属品（該当する場合は「CE」マークが付けられており、適用される欧州の調和規格

基準に準拠しています。

注：入力電圧が 50～1000 VAC または 75～1500 VDC の製品は、指令 2014/35/EU (LVD) に準拠しており、その他の製品は指令 2001/95/EC (GPSD) に準拠しています。参考として、特定の電源情報を確認してください。



指令2012/19/EU（WEEE指令）：このマークが付いた製品は、欧州連合内で未分別一般廃棄物として廃棄できません。適切な

リサイクルのため、同等の製品を購入する際には、この製品を地元の供給元に返却するか、指定の回収ポイントで処分してください。詳細については、

新しい機器を購入する際、または指定された回収場所に廃棄してください。詳細については、

www.recyclethis.info をご覧ください



指令2006/66/ECおよびその改正指令2013/56/EU（電池指令）：この製品には、欧州連合において一般廃棄物として分別せずに廃棄できない電池が含まれています。製品

資料でバッテリーに関する詳細情報をご確認ください。バッテリーには、カドミウム（Cd）、鉛（Pb）、水銀（Hg）を示す文字を含むこの記号が記載されています。適切なリサイクルを行うため、バッテリーは販売店または指定の回収場所に返却してください。詳細については、www.recyclethis.info をご覧ください

カナダ産業省 ICES-003 準拠

このデバイスは、CAN ICES-3 (A)/NMB-3(A) 規格の要件を満たしています。

KC

A級機器：この機器は業務用（A級）の電磁波適合機器であり、販売者または使用者はこの点を注意し、家庭外での使用を目的としています。

警告

これはクラス A 製品です。家庭環境では、この製品が電波干渉を引き起こす場合があります、その場合は、ユーザーが適切な措置を講じる必要があります。

安全に関する注意事項

これらの指示は、ユーザーが製品を正しく使用し、危険や財産の損失を防止するために作成されています。

安全対策は「警告」と「注意」の2つに分類されています。

警告: 警告を無視した場合、重大な怪我や死亡事故が発生する可能性があります。

注意: 注意を無視した場合、怪我や機器の損傷が発生する可能性があります。

	
警告 重大な怪我や死亡を防止するため、これらの安全対策を必ず遵守してください。	注意 これらの注意点を遵守し、潜在的な怪我やまたは重大な事故を防ぐために、次の注意事項を守ってください。



警告

- 本製品を使用する場合は、お住まいの国および地域の電気安全に関する規制を厳守してください。
- 入力電圧は、IEC60950-1 および IEC62368-1 規格に準拠した SELV (安全低電圧) および 12 VDC の限定電源の両方に適合している必要があります。詳細については、技術仕様書をご覧ください。
- ソケットアウトレットは、機器の近くに設置し、容易にアクセスできる位置に配置する必要があります。
- 建物の電気設備に全極電源スイッチを組み込む必要があります。
- 過負荷による過熱や火災の危険を避けるため、1つの電源アダプタに複数の機器を接続しないでください
アダプターに接続しないでください。過熱や過負荷による火災の危険を防止するためです。
- プラグが電源コンセントにしっかりと接続されていることを確認してください。
- 煙、異臭、異音が発生した場合は、直ちに電源を切り、電源コードをコンセントから抜き、サービスセンターにご連絡ください。
- 専門知識のない方がカメラを分解しないでください。



注意事項

- 本機の上に、ろうそくなどの火気のあるものを置かないでください。
- このマニュアルの指示に従って機器をインストールしてください。
- 怪我を防ぐため、本機は設置説明書に従って床や壁にしっかりと固定してください。
- カメラを落下させたり、衝撃を与えないでください。
- センサーモジュールに指で触れないでください。

- カメラを極端な高温、低温（動作温度は-40°C～60°C）の場所、ほこりや湿気の多い場所に置かないでください。また、高電磁波にさらさないでください。
電磁波にさらさないでください。
- 清掃が必要な場合は、エタノールを少量含ませた清潔な布で優しく拭き取ってください。
- カメラを太陽や非常に明るい場所に向けてはいけません。
- レーザー光線によりセンサーが焼損するおそれがあります。レーザー機器を使用する際は、センサーの表面がレーザー光線にさらされないようにしてください。
- 高電磁波、極端な高温、低温、ほこりや湿気の多い環境には置かないでください。
- 熱がこもりやすい場所では、カメラを風通しの良い場所に置いてください。
- 防水仕様でないカメラは、使用中は液体に近づけないでください。
- カメラは、輸送中は、元の梱包材または同等の梱包材で梱包してください。
- 光線は、200mmの距離でリスクグループ1（RG1）に分類されます。この製品から有害な光学放射線が放出される可能性があります。
- 動作中の光源を直視しないでください。目に有害な影響を及ぼす可能性があります。
- 装置の設置やメンテナンスを行う際は、適切な保護眼鏡を着用するか、安全な距離（0.5 m）または光に直接さらされない場所で補助照明を点灯してください。

1 ケーブルの概要

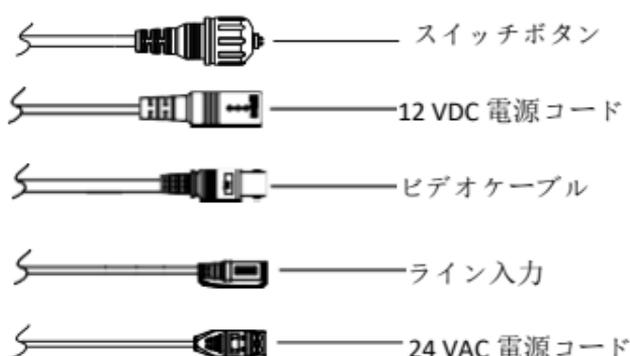


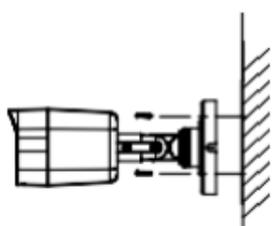
図1-1 ケーブルの概要

注意事項:

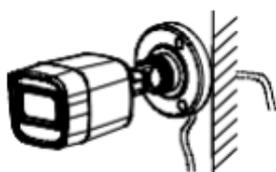
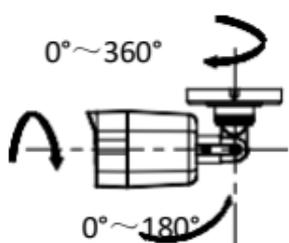
ケーブルは、カメラモデルによって異なります。

2 インストール

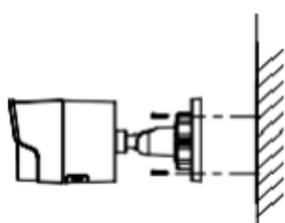
1



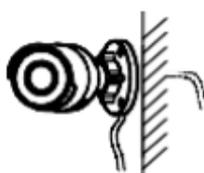
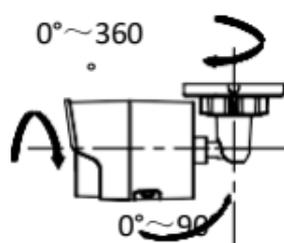
$0^{\circ} \sim 360^{\circ}$



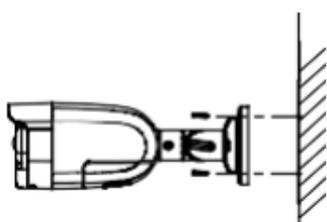
2



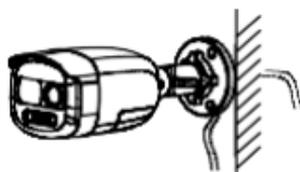
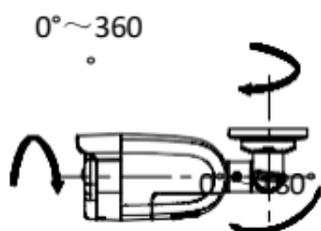
$0^{\circ} \sim 360^{\circ}$



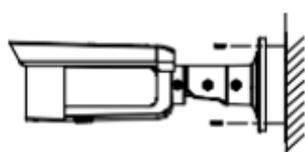
3



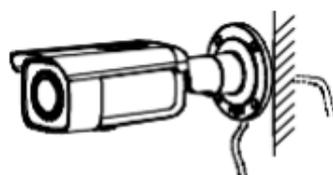
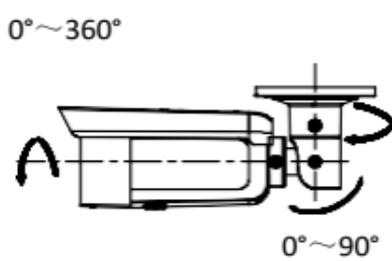
$0^{\circ} \sim 360^{\circ}$



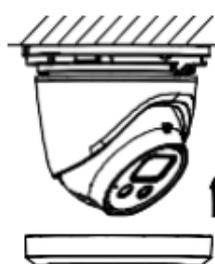
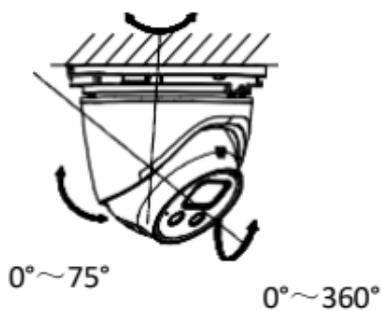
4



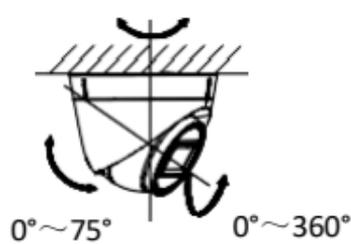
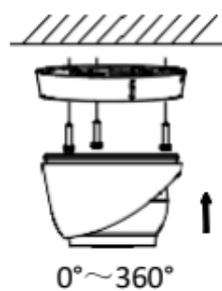
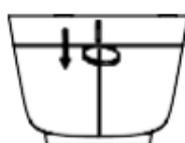
$0^{\circ} \sim 360^{\circ}$



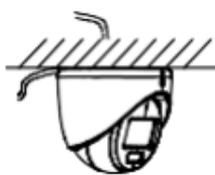
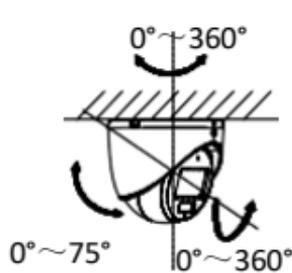
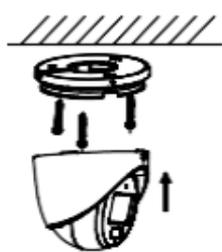
5



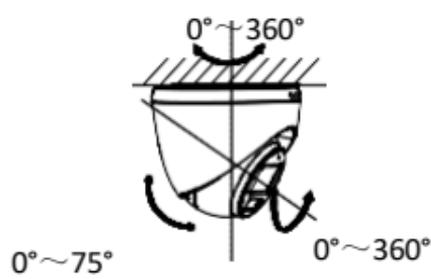
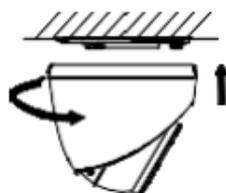
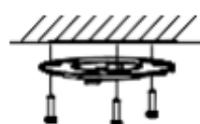
6



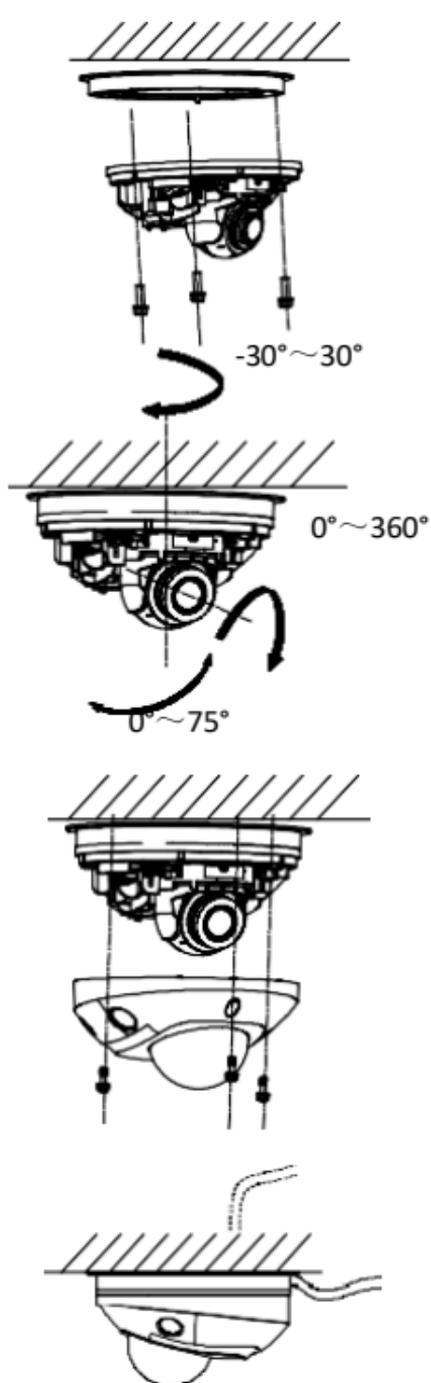
7



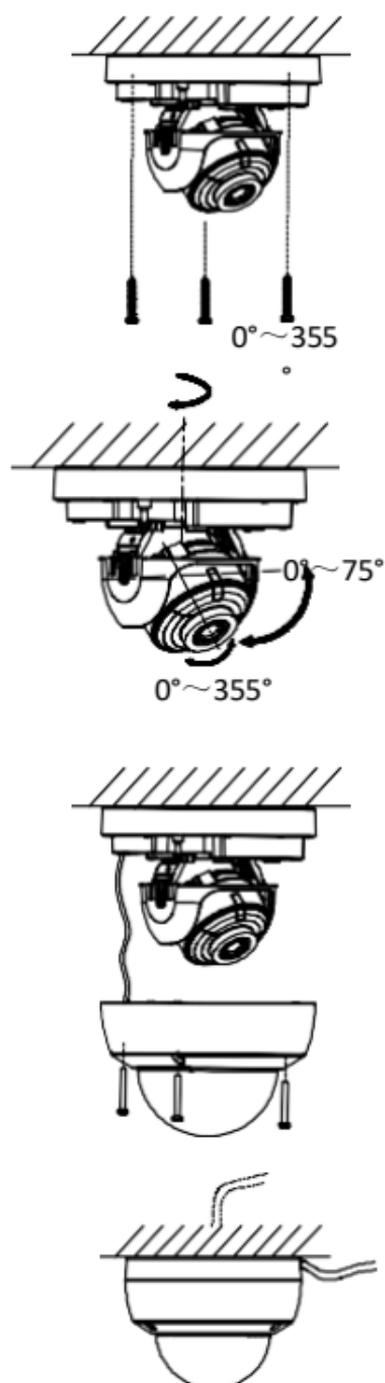
8



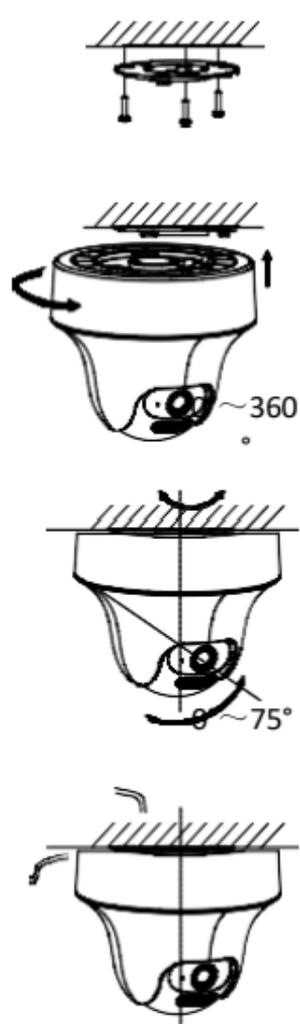
9



10



11



3 防水対策

カメラを屋外に設置する場合は、防水テープを使用してケーブルを防水してください。そうしないと、ケーブルが濡れたり、短絡が発生するおそれがあります。

注意:

防水テープは別途購入する必要があります。

ケーブルの配線と接続が完了したら、防水テープでケーブルを包んでください。接続したケーブルと予備のケーブルは、すべて包んでください。

4 メニューの説明

以下の手順に従ってメニューを呼び出してください。

注:

実際の表示は、お使いのカメラモデルによって異なる場合があります。

手順:

1. 図 4-1 に示すように、カメラを TVI DVR およびモニターに接続します。

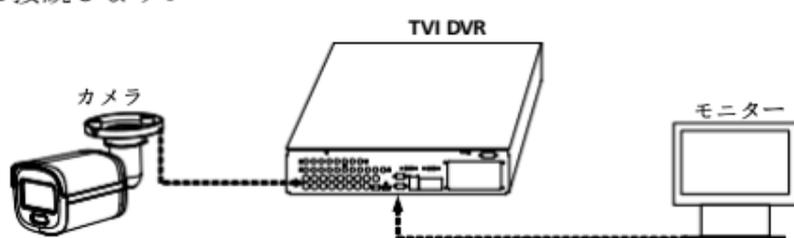


図4-1 接続図

2. カメラ、TVI DVR、およびモニターの電源を入れて、モニターに画像を表示します。
3. PTZ コントロールをクリックして、PTZ コントロールインターフェースに入ります。
4.  ボタンをクリックするか、プリセットNo. 95を呼び出して、カメラメニューを呼び出します。

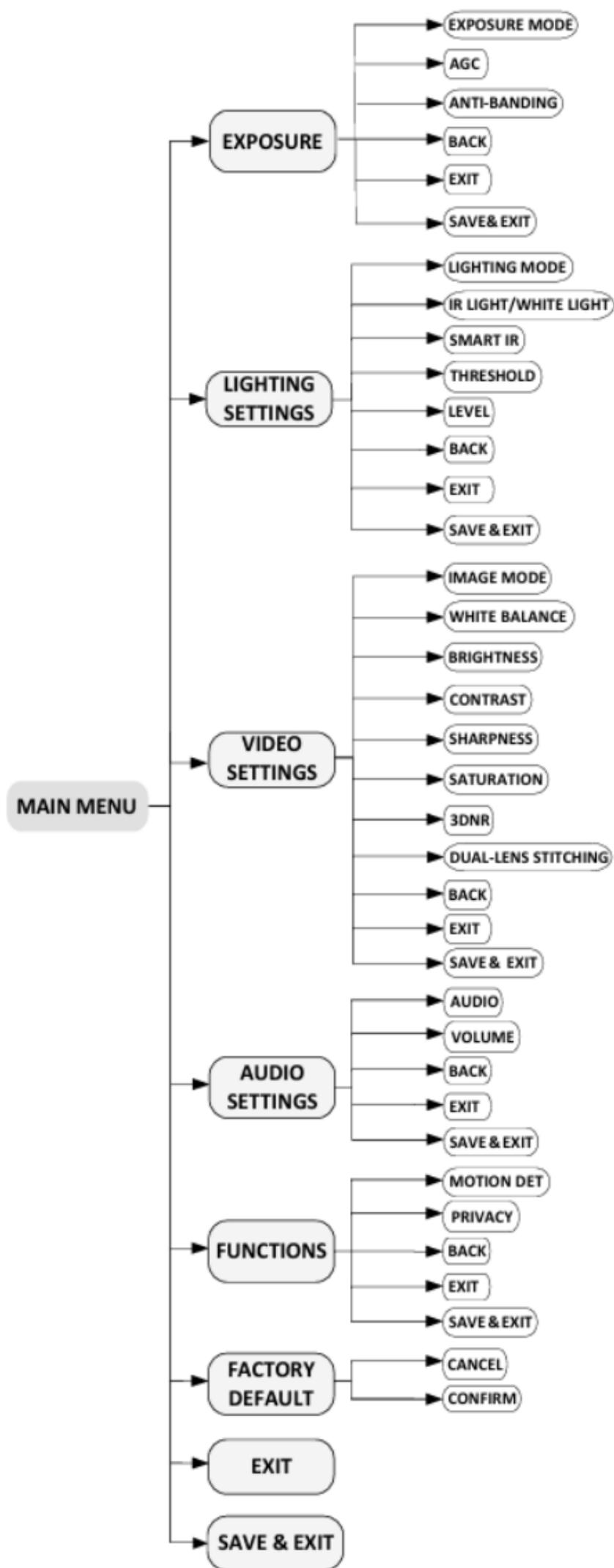


図4-2 メインメニューの概要

5. 方向ボタンをクリックしてカメラを操作します。
 - 1). 上/下方向ボタンをクリックして、メニューオプションを選択します。
 - 2). 「Iris」+をクリックして選択を確認します。
 - 3). 左右の方向ボタンをクリックして、選択したオプションの値を調整します。

4.2 露出

露出モード

露出モードをGLOBAL、BLC、HLC、またはWDRに設定できます。

- GLOBAL

Globalは、照明の分布、変動、および非標準処理。

● BLC (バックライト補正)

BLC (バックライト補正)は、被写体への光を補正して明瞭にする機能ですが、これにより光が弱い背景が過露出になる可能性があります。

強い部分で露出過多になる可能性があります。

● HLC (ハイライト補正)

HLCはハイライト補正の略です。カメラは、強いスポット(画像の露出過多部分)を検出し、強いスポットの明るさを低減して、画像全体の品質を向上させます。

● WDR (ワイドダイナミックレンジ)

ワイドダイナミックレンジ(WDR)機能は、逆光時でも鮮明な映像を撮影する機能です。視野内に非常に明るい部分と暗い部分がある場合、WDRは画像全体の明るさを調整し、鮮明な映像を提供します。

非常に暗い領域が同時に存在する場合、WDRは画像全体の明るさのレベルを調整し、鮮明で詳細な映像を提供します。

AGC (自動ゲイン制御)

暗い場所での画像の鮮明度を最適化します。

。AGCレベルは、HIGH、MEDIUM、LOWに設定できます。

注意:

AGCレベルを設定すると、ノイズが増幅されます。

ANTI-BANDING

アンチバンディングは、低周波の光や高輝度の環境で画像を撮影する際に、水平線(バンディング)が発生する現象を防ぐ機能です。

4.3 照明設定

照明モード

SMART、IR、白色光から選択できます。

➤ スマート/IR

● IR ライト

IR ライトをオン/オフに切り替えて、異なる状況に対応できます。

● スマート IR

スマート IR 機能は、光を最適な強度に調整し、画像の露出過多を防ぐために使用されます。

● D→N Threshold (デイ&ナイトしきい値)

デイ&ナイト切り替えは、デイモードからナイトモードへの切り替えの感度を制御します。

値は1から9まで設定できます。値が大きいほど、カメラの感度が高くなります。

● N→D Threshold (デイ&ナイトしきい値)

ナイトからデイへのしきい値は、ナイトモードからデイモードへの切り替えの感度を制御するために使用します。

1から9までの値を設定します。値が大きいほど、カメラの感度が高くなります。

➤ 白色光

白色光サブメニューでは、モードを「OFF」または「AUTO」に設定できます。

● OFF

この機能を無効にするには、OFFに設定してください。

● AUTO

このセクションでは、THRESHOLD および LEVEL を設定できます。

THRESHOLD

しきい値が高いほど、暗い環境に対して感度が高くなります。

レベル

補助光の最大明るさを調整できます。

4.4 ビデオ設定

カーソルを「**ビデオ設定**」に移動し、「**アイリス+**」をクリックしてサブメニューに入ります。**画像モード**、**ホワイトバランス**、**明るさ**、**コントラスト**、**シャープネス**、**彩度**、**3DNR**、および **DUAL-LENS STITCHING** を調整できます。



図 4-3 ビデオ設定

画像モード

画像モードは、画像の彩度を調整するために使用し、**STD**（標準）、**HIGH-SAT**（高彩度）、**HIGHLIGHT**（屋内での顔の細部をより鮮明に）から選択できます。

ホワイトバランス

ホワイトバランスは、カメラの白色再現機能で、環境に応じて色温度を調整します。これにより、画像に不自然な色かぶりを取り除くことができます。**ホワイトバランスモード**は、**AUTO** または **MANUAL** に設定できます。

● AUTO

AUTO モードでは、シーンの照度の色温度に応じてホワイトバランスが自動的に調整されます。

● MANUAL

R-GAIN/B-GAIN の値を設定して、画像の赤/青の色調を調整することができます。



図4-4 ホワイトバランス

明るさ

明るさは、画像の明るさを指します。明るさの値は 1 から 9 まで設定でき、値が大きいほど画像は明るくなります。

コントラスト

画像の色の濃淡や明暗の差を強調します。

シャープネス

シャープネスは、画像システムが再現できる細部の量を決める要素です

彩度

彩度は、総色覚のうち純粋な色相の割合です。この機能を調整して、色の彩度を変更します。

3DNR (3D DNR)

3DNRは、3Dデジタルノイズリダクションを指します。一般的な2Dデジタルノイズリダクションと比較して、3Dデジタルノイズリダクション機能は、1フレームのノイズを処理するだけでなく、2フレーム間のノイズも処理します。これにより、ノイズが大幅に減少し、ビデオがより鮮明になります。

デュアルレンズスティッチング

X軸、Y軸、距離、およびカラーキャリブレーションを調整することで、スティッチング画像の品質を向上させることができます。

デュアルレンズスティッチング	
X軸	◀ 0 ▶
Y軸	◀ 0 ▶
距離	◀ 5 ▶
カラーキャリブレーション	┆
背面	┆
終了	┆
保存&退出	┆

● X軸

X軸は、距離を調整しても要件を満たせない場合に、水平方向のスティッチング画像をわずかに調整するために使用します。

X-AXIS>0、右側のレンズ画像が右方向に移動します。X-AXIS<0、右側のレンズ画像が左方向に移動します。

● Y軸

Y軸は、上下のずれがある場合に、画像の縦方向のスティッチングを微調整するために使用します。

Y-AXIS>0の場合、右側のレンズ画像は下方向に移動します。Y軸が0未満の場合、右側のレンズ画像は上方向に移動します。

● DISTANCE

距離とは、カメラのレンズと被写体の物理的な距離のことです。レンズに近い被写体の左側のレンズ画像と右側のレンズ画像が、スティッチングの継ぎ目で重なっている場合は、**DISTANCE**の値を小さく設定する必要があるかもしれません。レンズから遠い被写体のスティッチング画像に、スティッチング継ぎ目にゴースト画像が発生する場合があります。にゴースト画像が現れる場合、**DISTANCE**のグレードを大きく設定する必要がある場合があります。

● カラーキャリブレーション

カラーキャリブレーションとは、2つのレンズ画像の視覚的効果がほぼ一致するように、スティッチング画像の色を調整するプロセスです。このプロセスにより、色のズレが解消され、スティッチング画像間の視覚的な滑らかな移行と均一性が実現します。**カラーキャリブレーションモード**は、**[デフォルト]**、**[自動]**、または**[手動]**に設定できます。

◆ DEFAULT

デフォルトモードでは、ステッチ画像の色は調整できません。

◆ AUTO

AUTOモードでは、ステッチ画像の色は自動的に調整されます。

◆ MANUAL

LEFT SENSOR R-GAIN、**LEFT SENSOR B-GAIN**、**RIGHT SENSOR R-GAIN**、および**RIGHT SENSOR**

B-GAINの値を設定して、ステッチ画像の色を調整できます。

LEFT SENSOR R-GAINの値が大きいほど、左レンズの画像は赤くなります。

LEFT SENSOR B-GAINの値が大きいほど、左側のレンズの画像は青くなります。

RIGHT SENSOR R-GAIN の値が大きいほど、右レンズの画像は赤くなります。

RIGHT SENSOR B-GAIN の値が大きいほど、右側のレンズの画像は青くなります。

カラーキャリブレーション	
モード	◀ 手動 ▶
左センサー R-GAIN	◀ 0 ▶
左センサー B-ゲイン	◀ 0 ▶
右センサー R-ゲイン	◀ 0 ▶
右センサー B-ゲイン	◀ 0 ▶
バック	⌵
EXIT	⌵
保存 & 退出	⌵

4.5 オーディオ設定

オーディオ

このサブメニューから、この機能をオンまたはオフに切り替えることができます。

音量

このサブメニューでは、音量レベルを調整できます。

4.6 機能

モーション検出

動体検知とは、カメラの視野内の動きを検知する機能です。動体検知機能を使用すると、カメラの視野内のあらゆる部分の動きを検知することができます。カメラの視野内の、動きを検知する領域を全画面または複数のゾーンに設定することができます。

プライバシー

この機能を使用すると、シーンの特定の領域をブロックまたはマスクして、個人のプライバシーを録画やライブビューから保護することができます。必要に応じて、**プライバシー**をオン/オフに切り替えることができます。

4.7 工場出荷時設定

すべての設定を工場出荷時のデフォルト設定にリセットします。

4.8 EXIT

カーソルを「EXIT」に移動し、Iris+をクリックしてメニューを終了します。

4.9 保存して終了

カーソルを「SAVE & EXIT」に移動し、Iris+ をクリックして設定を保存し、メニューを終了します。